



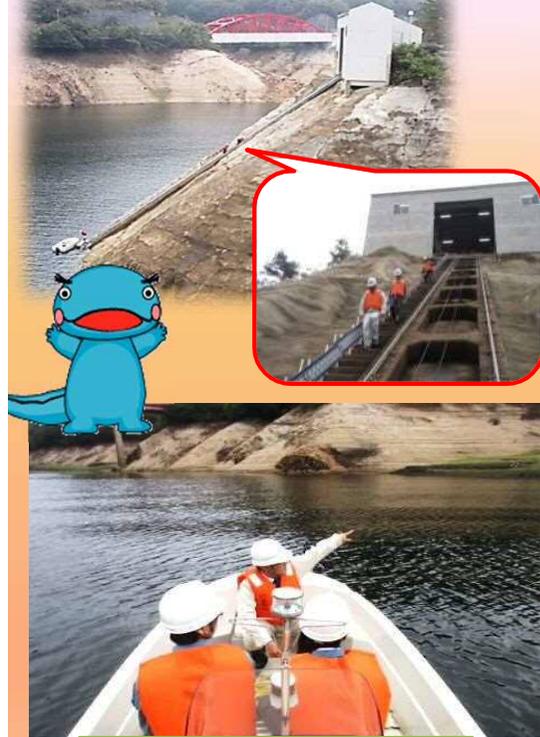
菅沢 だより



平成28年11月 菅沢ダム管理支所

“県立米子工業高等学校”の学生4名が
職場体験で菅沢ダムへ!!

↓湖面までは屋外の階段を使って降ります



↑巡視船に乗って湖面巡視を体験



↑堤体内部にある施設の説明

この日はお昼から雨の予報でしたが、午後からの巡視作業までなんとか雨も降らずに無事に終える事が出来ました。本当にお疲れ様でした!

また湖面巡視では、普段ダムの管理で行っているダム湖に油や流木等の浮遊物はないか、周辺に異変がないかなどの作業を実際に船に乗って巡視を行ってもらいました。
堤体内部では、放流関係の機器の仕組みについて学んでもらいました。皆さんとても熱心に聞いて下さり、進行もスムーズに出来ました。ですが堤体内部へ降りる階段が300段以上もあるため、職員はもちろんの事、普段授業や部活等で体を動かしている学生さんでも終わる頃にはへとへとになってしまいました(A;)。



平成28年10月26日(水)、職場体験のため米子市にある県立米子工業高等学校から4名の学生さんが菅沢ダムに来場されました(U)。
始めに、事務所内で菅沢ダムの歴史や目的、主な働きについて学んでもらいました。
次に2班に分かれてもらい、ダムの堤体内部見学と湖面巡視を体験して頂きました!

菅沢ダムの風景

ダムの上に
きれいな半円の虹ができました!!



平成28年10月17日(月)撮影

※

菅沢ダムは昭和43年9月に完成。ダムの形式としては重力式コンクリートダムと言い、コンクリート自体の重さによって水がダムを押し出す力に負けないように造られています。また、菅沢ダムは洪水被害の軽減・利水の補給・発電などを目的としている多目的ダムです。

ポイント

菅沢ダムの利水とは…

- ・農作物が枯れないようにする水を供給(かんがい用水)
- ・生産活動にかかせない工場などの水を供給(工業用水)
- ・水が高い所から低い所へ流れる時の位置エネルギーを利用した電気の供給(発電用水)

コンクリートの重さを利用して造る、地震や洪水に強い形式なんじゃ

